

7. 2℃以下の低温遭遇積算時間 について

果樹試験場内観測点における本年度(2025年10月1日以降)の7.2℃以下の時間は、

2026年1月12日までの積算で、1,345時間です。

次回更新予定： 2026年1月19日

年次	1月12日までの 低温積算時間 ^z	低温遭遇時間と到達日			備考
		1000時間	1200時間	1400時間	
R7(2025-2026)	1,345 ^x	12月28日	1月5日	1月15日 (予測)	今後、過去の平均気温と同程度の 気温で推移した場合の予想到達日
R6(2024-2025)	1,276	1月1日	1月9日	1月18日	
R5(2023-2024)	1,308	12月30日	1月8日	1月16日	
R4(2022-2023)	1,350	12月29日	1月6日	1月15日	
R3(2021-2022)	1,333	12月30日	1月7日	1月15日	
平均 ^y	1,372	12月28日	1月5日	1月14日	
H27(2015-2016)	1,139	1月7日	1月15日	1月23日	1000、1200、1400時間到達日が平成 13年以降最も遅かった年
H14(2002-2003)	1,582	12月19日	12月28日	1月5日	1000、1200、1400時間到達日が平成 13年以降最も早かった年

^z : 10月1日以降の7.2℃以下の積算時間

^y : 果樹試験場の測定記録より作成した。到達日は、平成13年～令和6年度の平均である。

^x : 2025年12月15日～17日の気温データは、場内データ欠測のため長野地方気象台のデータで代用した。